

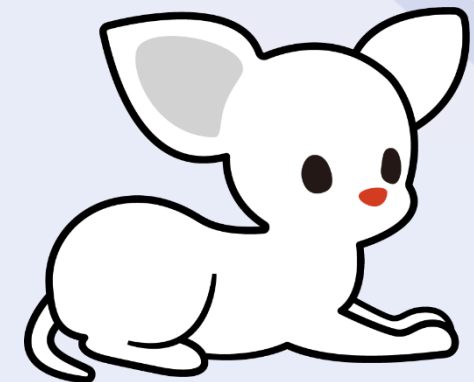
スマラジ SmartDB Radio

もっと活用！
「SmartDB」 Q&A 会

フィルタ定義を使って活用幅を広げよう



2022年6月24日
株式会社ドリーム・アーツ



本日のDAメンバー

講師



氏名：森本 圭一
 出身：兵庫県
 趣味：テニス、映画鑑賞

サポート



氏名：平井 里佳
 出身：岩手県
 趣味：舞台・ライブ鑑賞

サポート



氏名：江森 志保
 出身：東京都
 趣味：息子のご飯作り
 ドラえもんおたく

サポート



氏名：當間 茜
 出身：沖縄県
 趣味：テニス、カラオケ

“スマラジ！”とは SmartDB Radio



SmartDB コミュニティの紹介

HubFan
Meeting事例/開発計画
共有

半年に1回

スマコミュ！

特定テーマ
議論の会

隔月

スマラジ！

特定機能
深掘りの会

隔月

SmartDBの定期開催イベント

本日のテーマは…

フィルタ定義



| 本日の流れ

No.	時間	所要	内容
1	15:55	10分	お願い事項、企画趣旨について
2	16:05	25分	フィルタ定義の使い方を紹介（利用機能など）
3	16:30	10分	よく頂く質問のご紹介・事前質問への回答
4	16:40	10分	活用事例のご紹介・サポートコンテンツのご案内
5	16:50	10分	SmartDBの活用の幅を広げる「InsuiteX」のご紹介
6	17:00		終了（アンケートのお願い）

★終了後30分ほど講師は残ります。ご質問などにご活用ください。

1. 機能概要

フィルタ定義とは



フィルタ定義とは

SmartDB内で登録済み文書に対する各種の「条件」を設定するための定義です。
 文書基本情報や文書データの内容や状態、アカウント情報などを「条件」として設定できます。

自分の登録分

フィルタ定義

フィルタ名* 自分の登録分 [項目一覧](#)

フィルタキー

説明

● 下記条件のすべてに一致する ○ 下記条件のいずれかに一致する

対象項目	比較方法	検索条件
登録ユーザ	次に属している	<input checked="" type="checkbox"/> ログインユーザ(<input type="checkbox"/> 所属グループも対象とする) <input type="checkbox"/> バインダ管理者 <input type="checkbox"/> バインダ設計者 <input type="checkbox"/> 文書管理者

ユーザ・グループを追加

一覧 設定 再利用 削除



文書一覧

自分の登録分

ビュー定義

3件中 1~3件を表示しています。

	文字列	数値	登録日	登録ユーザ
1	あいうえお	123,456	2022/05/30	森山 慎太郎
2	さしすせそ	3,210	2022/05/26	森山 慎太郎
3	かきくけこ	7,890	2022/05/25	森山 慎太郎

新規登録 一覧出力

文書更新

キャンセル 再計算 登録

登録日 2022年05月30日

登録部署 CTサービス本部

文字列 たちつとと

数値 234567

単一選択 * 123 456 789

キャンセル 再計算 登録

部品制御

4件中 1~4件を表示しています。

	文字列	数値	登録日
1	たちつとと	234,567	2022/05/30
2	あいうえお	123,456	2022/05/30
3	さしすせそ	3,210	2022/05/26
4	かきくけこ	7,890	2022/05/25

部品書式

2. 設定方法



設定方法

フィルタ定義は、新たに追加する「新規登録」、既存フィルタ定義の「再利用」「削除」「変更」が可能です。

The image shows three screenshots of a web application interface for managing filters. The top screenshot shows a list of existing filters with columns for filter name, conditions, and last updated. The middle screenshot shows the 'New Filter Creation' form with fields for filter name, key, and description, and options for comparison methods. The bottom screenshot shows the 'Filter Definition' form for '自分の登録分' with a table for defining search conditions and a list of user groups to include.

フィルタ名	フィルタ条件	最終更新
自分の登録分	下記条件のすべてに一致する 登録ユーザ 次に属しているログインユーザ	09:55 森山 慎太郎
自部署の登録分	下記条件のすべてに一致する [10007] 登録部署 次に属しているログインユ(所属グループも対象とする)	10:14 森山 慎太郎

フィルタ新規作成 (Middle Screenshot)

フィルタ名* [項目一覧](#)

フィルタキー

説明

下記条件のすべてに一致する 下記条件のいずれかに一致する

対象項目	比較方法	検索条件
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

キャンセル 登録

自分の登録分 (Bottom Screenshot)

フィルタ名* [項目一覧](#)

フィルタキー

説明

下記条件のすべてに一致する 下記条件のいずれかに一致する

対象項目	比較方法	検索条件
登録ユーザ	次に属している	<input checked="" type="checkbox"/> ログインユーザ (<input type="checkbox"/> 所属グループも対象とする) <input type="checkbox"/> バインダ管理者 <input type="checkbox"/> バインダ設計者 <input type="checkbox"/> 文書管理者

ユーザー・グループを追加

一覧 設定 再利用 削除

フィルタ名：フィルタの名称を指定します（必須）

フィルタキー：フィルタのキーを指定します（アドオンで使用）

説明：フィルタの説明を記載します（任意）

下記条件のすべてに一致する：複数の指定された条件のすべてを満たす条件とします（デフォルト値）

下記条件のいずれかに一致する：複数の指定された条件のいずれかを満たす条件とします

設定方法

フィルタ定義は、文書基本情報やフォームに定義されている文書部品を条件の対象項目として設定します。

	対象項目	データ型	備考
文書基本情報	文書番号	数値型	基本型は適用されない
	ログインユーザ 登録ユーザ 最終更新ユーザ ロックユーザ 削除ユーザ	アカウント型	ログインユーザは検索条件で「ログインユーザ」選択不可 削除ユーザは削除文書ビューでのみフィルタ選択可能
	登録日時 最終更新日時 ロック日時 削除日時	日付型	
	ロック状態	論理型	
	既読未読状態	論理型	バイнда属性「既読未読機能」が有効な場合
	ブックマーク	論理型	バイнда属性「ブックマーク機能」が有効な場合
	コメント総数	数値型	バイнда属性「コメント機能」が有効な場合

	対象項目	データ型
部品	文字列入力ボックス 入力可能な単一選択（メニュー） 自動採番 自動更新（テキスト型） 文章入力エリア	文字列型
	数値入力ボックス 自動更新（数値型）	数値型
	日付選択	日付型
	複数選択	選択肢型（複数）
	単一選択（項目） 単一選択（メニュー）	選択肢型（単一）
	アカウント選択（ポップアップ） アカウント選択（メニュー）	アカウント型
	リンク	文字列型
	カテゴリ	カテゴリ型
	リッチテキスト ファイルフォルダ 画像 文書リンク バイндаリンク バイнда参照ボタン リスト型 サブフォーム	基本型

設定方法

それぞれのデータ型に応じて、「比較方法」および「検索条件」の指定方法が決まります。
 なお、「基本型」はどのデータ型にも含まれます。

データ型	比較方法	検索条件	備考
基本型	値がある 値がない	-	文書番号では使用できません
文字列型	次を含む（部分一致） 次で始まる 次で終わる 次と同じ 次と異なる 次を含まない	任意の文字列	
数値型	次の範囲に含まれる	任意の数値	
アカウント型	次に属している 次に属していない	ログインユーザ バインダ管理者 バインダ設計者 文書管理者 任意のユーザ・グループ	
日付型	指定と一致 指定以前 指定以降 現在との差分 範囲指定		日付の条件指定方法は複雑なため、後述します

設定方法

それぞれのデータ型に応じて、「比較方法」および「検索条件」の指定方法が決まります。
なお、「基本型」はどのデータ型にも含まれます。

データ型	比較方法	検索条件	備考
選択肢型（複数）	次の選択肢をすべて含む 次の選択肢のいずれかを含む 次の選択肢と一致する（完全一致） 次の選択肢を含まない 次の選択肢と異なる	選択肢（複数選択可）	
選択肢型（単一）	次のいずれかに一致する 次のいずれでもない	選択肢（複数選択可）	
論理型	次と同じ	状態の有無	文書ロックの有無、既読か未読かなど ブックマークのみ「登録済み」のチェック

詳細は、[SmartDBバイнда作成ガイド](#)もしくは、[SmartDBリファレンスガイド～文書管理編～](#)を参照してください。

3.利用機能



フィルタ定義を利用する機能

以下の機能でフィルタ定義を利用することが可能です。

利用機能	利用箇所	利用シーン	備考
フォーム定義	レイアウトブロック属性：権限制御 「閲覧可能条件」「編集可能条件」	特定の条件の文書の場合に文書レイアウトブロックの権限制御を行いたい	
	評価式：条件	条件に合わせて評価式を切り替えたい	
ビュー定義	フィルタ選択タブ	一覧に表示する対象文書を絞り込みたい	リスト・カレンダーどちらのタイプでも利用可能
通知定義	通知する条件	特定の条件の文書に対してアクションが発生した際に自動で通知したい	
マーク定義	条件	特定の条件の文書を一覧表示時にマーク表示して気付かせたい	
部品書式	条件	特定の条件の文書（例えば、期日超過など）を一覧表示時や文書詳細表示時に特定の部品の書式を変更して目立たせたい	
部品制御	条件 チェック実施条件 対象文書	文書状態に応じて、レイアウトブロックを動的に表示制御をしたり、部品の振る舞い（必須項目化や選択肢の動的変更、入力チェック、重複チェックなど）を行いたい	
ジョブ定義	対象文書	特定の文書に対して定期的な処理を実施したい	「外部連携（csv入力）」 「CSV出力の登録」ではフィルタを設定できません
プロセス定義	プロセス基本情報：開始条件	特定の条件を満たさない文書は業務開始させたくない	開始バイнда定義が必要です
	アクティビティ：実施ボタン「表示条件」	文書の条件に合わせてアクティビティの実施ボタンを切り替えたい	
	アクティビティ：必須入力チェック	文書の条件に合わせてアクティビティで必須入力に切り替えたい	

フィルタ定義の利用方法

- 1 : レイアウトブロック属性での利用
- 2 : ビュー定義での利用
- 3 : 評価式での利用
- 4 : 部品制御での利用
 - 必須入力制御
 - 入力値チェック



利用①：レイアウトブロック属性

自部署の登録分

フィルタ定義

フィルタ名* 自部署の登録分 [項目一覧](#)

フィルタキー

説明

下記条件のすべてに一致する 下記条件のいずれかに一致する

対象項目	比較方法	検索条件
[10007] 登録部署	次に属している	<input checked="" type="checkbox"/> ログインユーザ(<input checked="" type="checkbox"/> 所属グループも対象とする) <input type="checkbox"/> バインダ管理者 <input type="checkbox"/> バインダ設計者 <input type="checkbox"/> 文書管理者

ユーザー・グループを追加

一覧 設定 再利用 削除

直近7日間に登録

フィルタ定義

フィルタ名* 直近7日間に登録 [項目一覧](#)

フィルタキー

説明

下記条件のすべてに一致する 下記条件のいずれかに一致する

対象項目	比較方法	検索条件
登録日時	現在との差分	過去 7 日間

一覧 設定 再利用 削除

自部署の直近7日間登録分

基本情報設定 表示項目設定 **フィルタ選択** 検索項目 集計項目 ツリー設定 一括処理 CSV出力

使用可能なフィルタのみ表示されています。

下記条件のすべてに一致する 下記条件のいずれかに一致する

フィルタ選択

- ステータス=承認済
- ステータス=未承認
- 直近7日間に登録
- 自分の登録分
- 自部署の登録分

一覧 設定

一覧に「自部署の登録分」かつ「直近7日間に登録」された文書を表示する。

利用②：ビュー定義

自部署の登録分

フィルタ定義

フィルタ名* 自部署の登録分 [項目一覧](#)

フィルタキー

説明

下記条件のすべてに一致する 下記条件のいずれかに一致する

対象項目	比較方法	検索条件
[10007] 登録部署	次に属している	<input checked="" type="checkbox"/> ログインユーザ(<input checked="" type="checkbox"/> 所属グループも対象とする) <input type="checkbox"/> バインダ管理者 <input type="checkbox"/> バインダ設計者 <input type="checkbox"/> 文書管理者

ユーザー・グループを追加

一覧 設定 再利用 削除

直近7日間に登録

フィルタ定義

フィルタ名* 直近7日間に登録 [項目一覧](#)

フィルタキー

説明

下記条件のすべてに一致する 下記条件のいずれかに一致する

対象項目	比較方法	検索条件
登録日時	現在との差分	過去 7 日間

一覧 設定 再利用 削除

自部署の直近7日間登録分

基本情報設定 表示項目設定 **フィルタ選択** 検索項目 集計項目 ツリー設定 一括処理 CSV出力

使用可能なフィルタのみ表示されています。

下記条件のすべてに一致する 下記条件のいずれかに一致する

フィルタ選択

- ステータス=承認済
- ステータス=未承認
- 直近7日間に登録
- 自分の登録分
- 自部署の登録分

一覧 設定

一覧に「自部署の登録分」かつ「直近7日間に登録」された文書を表示する。

利用③：評価式

ステータス=未確認

フィルタ定義

フィルタ名* ステータス=未確認 [項目一覧](#)

フィルタキー

説明

下記条件のすべてに一致する 下記条件のいずれかに一致する

対象項目	比較方法	検索条件
[10008] ステータス	次のいずれかに一致する	<input checked="" type="checkbox"/> 未確認 <input type="checkbox"/> 確認済 <input type="checkbox"/> 承認済

[項目一覧](#)

一覧 設定 再利用 削除

下記条件のすべてに一致する 下記条件のいずれかに一致する

対象項目	比較方法	検索条件
[10008] ステータス	次のいずれかに一致する	<input type="checkbox"/> 未確認 <input checked="" type="checkbox"/> 確認済 <input type="checkbox"/> 承認済

一覧 設定 再利用 削除

評価式 利用する

編集可否 編集可能

参照エラー時の処理 評価を中止する 0もしくは空文字列として取り扱う

条件を満たさない時 元の値を保持する 値をクリアする

	条件	評価式
<input checked="" type="checkbox"/> 編集	下記条件のすべてに一致する ステータス=未確認	lookup(10009,10002) ([[10009] バインダ参照ボタン -> [10002] テキスト入力)
<input checked="" type="checkbox"/> 編集	下記条件のすべてに一致する ステータス=確認済	lookup(10009,10003) ([[10009] バインダ参照ボタン -> [10003] 文章入力)
<input checked="" type="checkbox"/> 編集	条件なし	lookup(10009,10007) ([[10009] バインダ参照ボタン -> [10007] 数値入力)

設定追加

「ステータス」に応じて評価式を切り替える。
 評価式は上から順に条件を確認するので、設定する際には狭い条件→広い条件で設定する。

利用④：部品制御（入力値チェック）

部品制御

レイアウトブロック表示制御 選択肢制御 必須入力制御 **入力値チェック** 重複チェック

指定した対象部品は、文書登録時に指定のチェック実施条件を満たした場合に指定のチェック内容でチェックされ、有効性チェック設定の条件を満たさない場合はエラーで返されます。
また、指定のトリガー部品の値が変更される際、指定のチェック実施条件を満たした場合に、対象部品に「ヒント」が表示されます。

編集

有効	対象部品	チェック実施条件	トリガー部品	チェック内容			最終更新
				ヒント ?	エラーメッセージ ?	有効性チェック	
✓	[10005] 数値	下記条件のすべてに一致する 🔔 ステータス=確認済	[10008] ステータス		1000以上を設定してください	下記条件のすべてに一致する 🔔 数値が1000以上	11:32
✓	[10005] 数値	下記条件のすべてに一致する 🔔 ステータス=未確認	[10008] ステータス		100以上を設定してください	下記条件のすべてに一致する 🔔 数値が100以上	11:31

編集

「ステータス」に応じて入力値のチェック内容を切り替える。

| 利用⑤：部品制御（必須入力制御）

部品制御

レイアウトブロック表示制御 選択肢制御 **必須入力制御** 入力値チェック 重複チェック

指定した対象部品は、文書登録時または指定のトリガー部品の値変更の際、指定の条件を満たした場合に、必須入力項目として扱われます。

編集

有効	対象部品	条件	トリガー部品	最終更新
✓	[10005] 数値 [10006] 単一選択	下記条件のすべてに一致する 🔔 ステータス=確認済	[10008] ステータス	11:36
✓	[10003] 文字列	下記条件のすべてに一致する 🔔 ステータス=未確認	[10008] ステータス	11:35

編集

「ステータス」に応じて必須項目を切り替える。

4.よく頂く質問・運用ポイント



よくいただく質問 (FAQ)

Q1

AND条件とOR条件を組み合わせることはできますか。

A：フィルタ定義内では組み合わせて設定することはできません。

Q2

フィルタ定義で「削除」ボタンを押下した際に「このフィルタは下記の箇所で利用されています。削除できません。」となります。

A：エラー内容の通り、該当箇所で使用されているため削除できません。

Q3

「リスト型部品」内に配置されている部品のフィルタを作りたいのですが「対象項目」に出てきません。

A：「リスト型部品」内に配置されている部品は、フィルタ定義の対象項目とすることができません。

Q4

「自分が削除」というフィルタ定義が自動で設定されています。

A：バイнда属性で「ゴミ箱機能」を有効にしている場合に、自動で作成されます。

Q5

アカウントで設定したフィルタ定義では、閲覧権限がどこまで付与されますか。

A：「ログインユーザ（所属グループも対象とする）」の場合、ログインユーザが対象項目の下位グループに所属している場合に閲覧権限が付与されます。

「任意のユーザ・グループ」を設定した場合は、下位グループに所属しているユーザも閲覧権限が付与されます。

よくいただく質問 (FAQ)

Q6

登録したフィルタがビュー定義のフィルタ選択タブで表示されません。

A：一覧表示時の遅延対策として、一部のフィルタ定義はビュー定義で利用することができません。

「次に属していない」「次と異なる」「次を含まない」「次のいずれでもない」は基本的にビュー定義のフィルタとしては指定できません。

部品別で注意する点としては

- 「複数選択」は「次の選択肢と完全一致」もフィルタ条件としては使えません。
- 「文章入力エリア」は「値がある/ない」であれば、ビュー定義でも使えますが
- 「リッチテキスト」はビュー定義のフィルタとして使えません。

利用できないフィルタ定義は、以下が含まれる定義となります。

対象項目

登録ユーザ
 最新更新ユーザ
 削除ユーザ
 文字列入力ボックス
 文書入力エリア
 リッチテキスト
 複数選択
 単一選択 (項目)
 単一選択 (メニュー)
 入力可能な単一選択
 アカウント選択 (ポップアップ)
 アカウント選択 (メニュー)
 自動採番
 自動更新部品 (テキスト型)
 カテゴリ部品

比較方法

次に属していない
 次に属していない
 次に属していない
 次と異なる/次を含まない
 次を含む (部分一致) /次で始まる/次で終わる/次と同じ/次と異なる/次を含まない
 値がある/値がない
 次の選択肢と一致する (完全一致) /次の選択肢を含まない/次の選択肢と異なる
 次のいずれでもない
 次のいずれでもない
 次と異なる/次を含まない
 次に属していない
 次に属していない
 次と異なる/次を含まない
 次と異なる/次を含まない
 次と異なる/次を含まない

運用面でのポイント

フィルタ名

分かりやすい名前を付けましょう。
(フィルタ定義に限らず、SmartDB全般で)

細かいフィルタの多用

似たようなフィルタをたくさん作るよりも、細かなフィルタを利用時に組み合わせる方がメンテナンス性が上がります。

5.事前質問への回答



事前質問への回答

No.	QA
1	<p>Q：「次のいずれでもない」の活用方法がわかりません。是非ご教示ください。</p> <p>A：選択系部品の場合に利用可能な「次のいずれでもない」は、選択されている値が合致しない場合に使用します。選択値が多く、複雑な組み合わせを表現する際に除外値を設けることで柔軟な条件を設定可能です。</p>
2	<p>Q：「値がある」「値がない」は、数値のみに限って使えるものなのでしょうか。</p> <p>A：数値部品のみならず、すべての文書基本情報（文書番号を除く）と入力系部品で利用が可能です。当該部品に値（イメージの場合は、画像）があるかどうかを判定します。</p>
3	<p>Q：フィルタ定義とはそもそもなに？</p> <p>A：SmartDB内で「条件」を設定するための定義になります。</p>
4	<p>Q：「フィルタ定義」の活用例を教えてください。（レイアウトブロック表示制御、必須入力制御、重複チェック等、定義したフィルタをどういうケースに利用できるか）</p> <p>A：例えば、選択された値によって、レイアウトブロックの切り替えや必須入力項目の設定、重複・入力値のチェックなど動的に行いたい場合に利用します。</p>

事前質問への回答

No.	QA
5	<p>Q：色々検討しているうちに多数のフィルタ定義ができてしまい、整理したいと思った際に使っていないフィルタ定義を見つける方法を知りたい</p> <p>A：使われているフィルタは「削除」できないので、削除しても他への影響はありません。</p>
6	<p>Q：フィルタ定義数や定義方法によって、入力・登録操作時の動作が遅くなる事がありますか？</p> <p>A：定義数によって操作などが遅くなることはありません。 ただし、複雑な定義になると条件が複雑になるため遅くなることが考えられます。 条件付き評価式の場合、上から順に条件を評価するため条件の数が多いと遅くなることが想定されます。</p>
7	<p>Q：作成者以外の方がメンテナンスするのに困難となるように思えます。 このような問題を改善する方法を教えてください。</p> <p>A：「説明」をうまく使うことでメンテナンス性を上げることができます。 また、同じようなフィルタを複数作成するのではなく、単純なフィルタを使用時に組み合わせることでメンテナンス性を上げることができます 例：フィルタ1・・・「条件A」かつ「条件B」かつ「条件C」 フィルタ2・・・「条件A」かつ「条件B」かつ「条件D」 と作るよりも、・・・「条件A」「条件B」「条件C」「条件D」の各フィルタを作成し、 使用時に組み合わせると分かりやすくなります。</p>

事前質問への回答

No.	QA
8	<p>Q：レイアウトブロック表示制御に複数の条件を指定したい場合、一つのフィルタ定義の中に含めるのか、条件の数だけ定義を作ったほうがいいのか、どうなのでしょう。</p> <p>A：1つのフィルタ定義で複雑な条件を設けるよりも、単純な条件を組み合わせた方がメンテナンス性は高いと考えます。</p> <p>例えば、あるレイアウトブロックを動的表示する条件が複数あるのであれば、動的表示制御ごとにフィルタ定義を作ってレイアウトブロック動的表示制御をここに設定しておけば、条件の変更が発生しても影響は少なくなります。</p>

6.活用事例のご紹介



日付のフィルタ：特定日より2日以上経過

利用シーン①：承認担当者への督促

- ・通知定義（定期処理）で、期限が過ぎている文書を担当者に通知する

利用シーン②：期限超過文書を一覧でわかりやすく

- ・マーク定義や部品書式で、期限超過の文書を一覧上で目立たせる

フィルタ新規作成

項目一覧

フィルタ名*	一時承認日時から2日以上経過		
フィルタキー			
説明			

下記条件のすべてに一致する 下記条件のいずれかに一致する

対象項目	比較方法	検索条件	
[10025] 一次承認日時	指定以前	本日から相対日数 - 2	日以前 (指定日を含む) <input type="checkbox"/>

キャンセル 登録

「経過した」場合は
本日からマイナスする

本日（6/24）から -2 日（6/22）以前（6/21、20、19・・・）に
一次承認日時が該当する場合、フィルタに合致します

日付のフィルタ：特定日の3日前

利用シーン①：承認担当者へ期限が迫っていることを認知させる

- ・通知定義（定期処理）で、期限の3日前を担当者へ通知する

利用シーン②：イベント開催〇日前の一覧でタスク管理

- ・ビュー定義で一覧化することで、〇日前にやるべき作業の対象をわかりやすく

フィルタ新規作成

フィルタ名*	承認期限3日前
フィルタキー	
説明	

下記条件のすべてに一致する 下記条件のいずれかに一致する

対象項目	比較方法	検索条件
[10025] 一次承認日時	指定と一致	本日から相対日数 + 3 日

キャンセル 登録

項目一覧

期日前の場合は
本日にプラスする

本日（6/24）から +3 日（6/27）に

一次承認日時が該当する場合、フィルタに合致します

日付のフィルタ：特定日の1日後

利用シーン①：登録されて業務開始をし忘れている文書の自動業務開始

- ・ジョブ定義+定期処理定義で、登録日より1日経過+ステータス申請前の文書を業務開始する

登録日時が前日

フィルタ定義

フィルタ名*	登録日時が前日	項目一覧
フィルタキー		
説明		

下記条件のすべてに一致する 下記条件のいずれかに一致する

対象項目	比較方法	検索条件	
登録日時	指定と一致	前日	⊗

一覧 設定 再利用 削除

フィルタ新規作成

フィルタ名*	ステータス=申請前	項目一覧
フィルタキー		
説明		

下記条件のすべてに一致する 下記条件のいずれかに一致する

対象項目	比較方法	検索条件	
[10022] ステータス	次のいずれかに一致する	<input checked="" type="checkbox"/> 申請前 <input type="checkbox"/> 承認中 <input type="checkbox"/> 完了	⊗

キャンセル 登録

ジョブ定義新規作成

一覧 登録

タイプ	業務開始
ジョブ名*	前日登録文書の業務開始ジョブ
ジョブキー	
説明	
実施者	<input checked="" type="radio"/> ジョブ定義の最終更新者 <input type="radio"/> 実施者を選択
通知メール	<input type="checkbox"/> 処理成功の場合 <input checked="" type="checkbox"/> 処理失敗の場合
宛先*	<input checked="" type="checkbox"/> ジョブ定義の最終更新者 <input type="checkbox"/> バインダ管理者 <input type="checkbox"/> バインダ設計者 <input type="checkbox"/> 宛先を選択 <input type="checkbox"/> 宛先の直接入力
許容時間	<input type="checkbox"/> 設定します
対象文書*	フィルタを選択してください。 選択 下記条件のすべてに一致する 📌 ステータス=申請前 ⊗ 📌 登録日時が前日 ⊗
業務名*	<input type="radio"/> 購入申請 <input type="radio"/> 貸出申請

一覧 登録

日付の比較：日付の逆転を防ぐ

利用シーン①：終了日を、開始日より前に設定できないようにする

- ・評価式+フィルタ定義+入力値チェックで制御できます。

[10166] 開始日

開始日

2022年 06月 24日

[10167] 終了日

終了日

2022年 06月 24日

[10168] 日付の差分

日付の差分

dateDiffInDays([10166],[10167])(数値入力ボックス)
dateDiffInDays([10166] 開始日, [10167] 終了日)

①評価式で
終了日 - 開始日 の値を取る

フィルタ名*	開始日と終了日の逆転チェック	項目一覧
フィルタキー		
説明		

下記条件のすべてに一致する 下記条件のいずれかに一致する

対象項目	比較方法	検索条件
[10168] 日付の差分	次の範囲に含まれる	1 ≤ 日付の差分 ≤

②フィルタ定義で差分のチェックをする。
①の結果がマイナスであれば
終了日のほうが開始日より前なので
エラーにする。

※同日はOKとしたい場合の設定は以下
0 ≤ 日付の差分 ≤ 空白

有効	対象部品	チェック実施条件	トリガー部品	チェック内容			最終更新
				ヒント?	エラーメッセージ?	有効性チェック	
✓	[10168] 日付の差分				終了日は、開始日より後にしてください。	下記条件のすべてに一致する 🚩 開始日と終了日の逆転チェック	10:55

評価式の条件：選択肢によって評価式を変える

利用シーン①：税率を選択肢によって入力する際の自動計算

- ・ 税率（8%、10%等）を選択式にして数値を計算

フィルタ名* 項目一覧

フィルタキー

説明

下記条件のすべてに一致する 下記条件のいずれかに一致する

対象項目	比較方法	検索条件
[10154] 税率	次のいずれかに一致する	<input checked="" type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> 10

フィルタ名* 項目一覧

フィルタキー

説明

下記条件のすべてに一致する 下記条件のいずれかに一致する

対象項目	比較方法	検索条件
[10154] 税率	次のいずれかに一致する	<input type="checkbox"/> 8 <input checked="" type="checkbox"/> 10

①それぞれの税率で
フィルタを作成

②選択された税率により
計算式を変えることができる

			条件	評価式	
≡	編集	<input checked="" type="checkbox"/>	下記条件のすべてに一致する ⚠税率が8%	$[10155] * 8$ $([10155] \text{ 税抜き価格} * 8)$	⊗
≡	編集	<input checked="" type="checkbox"/>	下記条件のすべてに一致する ⚠税率が10%	$[10155] * 10$ $([10155] \text{ 税抜き価格} * 10)$	⊗
≡	編集	<input checked="" type="checkbox"/>	条件なし	$clear()$ $clear()$	⊗

評価式の条件：月度単位で文書を管理する

評価式の活用方法💡

利用シーン①：締め日が月の途中（10日等）の文書管理

- ・各月10日までは前月、11日からは当月とカウントし文書を管理する

①数値部品の評価式で登録日時を"日"を取り出す

	条件	評価式
<input checked="" type="checkbox"/>	条件なし	<code>formatDate([_regDate], "dd")</code> <code>formatDate(登録日時, "dd")</code>

項目一覧

フィルタ名* 登録日時の"日"が10日以下

フィルタキー

説明

下記条件のすべてに一致する 下記条件のいずれかに一致する

対象項目	比較方法	検索条件
[10152] 登録日時の"日"	次の範囲に含まれる	1 ≤ 登録日時の"日" ≤ 10

②日付が10以下か、11以上かフィルタを作成

項目一覧

フィルタ名* 登録日時の"日"が11日以上

フィルタキー

説明

下記条件のすべてに一致する 下記条件のいずれかに一致する

対象項目	比較方法	検索条件
[10152] 登録日時の"日"	次の範囲に含まれる	11 ≤ 登録日時の"日" ≤

③日付部品の評価式で10日までは前月、11日からは当月として扱う

	条件	評価式
<input checked="" type="checkbox"/>	下記条件のすべてに一致する 登録日時の"日"が10日以下	<code>addMonths(formatDate([_regDate], "YYYYMM"), -1)</code> <code>addMonths(formatDate(登録日時, "YYYYMM"), -1)</code>
<input checked="" type="checkbox"/>	下記条件のすべてに一致する 登録日時の"日"が11日以上	<code>formatDate([_regDate], "YYYYMM")</code> <code>formatDate(登録日時, "YYYYMM")</code>

評価式の条件：承認者の設定

評価式の活用方法💡

利用シーン①：申請者の役職により、承認者をクリアする

- 自分の役職より上の人だけに承認を回す運用の一例として使えます

役職が部長の場合
課長・部長をクリアします

対象項目	比較方法	検索条件
[10158] 申請者の役職	次と同じ	課長
[10158] 申請者の役職	次と同じ	部長
[10158] 申請者の役職	次と同じ	本部長

[10157] 申請者

[10158] 申請者の役職

```
lookup(10157,'title')(文字列入力ボックス)
([10157] 申請者 -> [title] 役職)
```

[10159] 課長承認

[10160] 部長承認

下記条件のいずれかに一致する

- 申請者の役職=本部長 clear()
- 申請者の役職=課長 clear()
- 申請者の役職=部長

[10161] 本部長承認

下記条件のすべてに一致する

- 申請者の役職=本部長 clear()

便利なサポートコンテンツ



便利なサポートコンテンツ

- ・ 基本機能説明

- ： [製品ガイド](#) [バインダ作成ガイド](#) [フィルタ定義](#)

- ・ Tips

- ： [CSガイド](#) [フィルタ・条件絞込み](#)

- 例) [フィルタ定義「所属グループも対象とする」の利用シーンを知りたい](#) など各種公開

- ・ サポートサイト

- ： [FAQ一覧](#)

アンケートのお願い

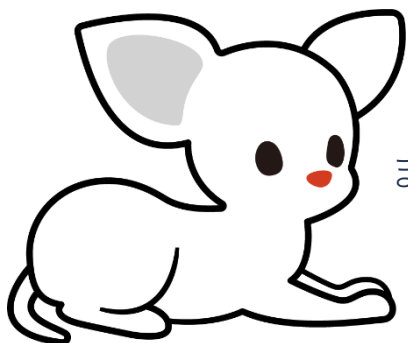


アンケートのお願い

本日はありがとうございました。

今後の改善のためにいろいろご意見頂戴できれば幸いです。

<https://forms.office.com/r/c0fjZbtdmY>



また次回もお楽しみに

